

事務事業名		森路網整備事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	3 魅力と活力ある産業づくり					担当組織	担当部	産業文化部	担当課	農山村振興課
	政策	1 産業振興で活力のあるまちづくり					担当係	森林整備係	担当課長名	富田一夫	
	施策	1 都市型農業の推進と中山間地域の活性化					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	4 林業の活性化					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	9999	一般	6	2	2	森路網整備事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成22年度～ 年度		根拠法令 条例等	森路網整備事業実施要領					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		任意的事業・義務的事業			任意的事業			
	実施方法		直営			事業分類		施設維持管理事業(市主体)			
リーディングプロジェクト		該当なし			市長マニフェスト		該当なし				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)								
市の管理する林道の維持保全に努め、森林の適正な管理をするため、改良事業を県単補助で実施する。			・林道作原沢入線改良工事 舗装工 W=5.0m L=158.0m 事業費 3,294,000円								
活動指標			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)			
市管理林道の路線数			路線	26	26	26	26	26			
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
市の管理する林道			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
(対象となった団体の活動) 事業地の測量、設計、積算、入札、契約、工事施工・管理、補助金事務等			延長	m	62,696	63,195	63,195	63,195	63,195		
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
目的 林道利用者の通行の安全確保を図る			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
苦情や補修の要望を受けた件数			件	0	0	0	0	0			
④結果(どのような結果に結びつきますか?)											
林業を営むための基盤が整備される。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
林道の整備延長			m	62,696	63,195	63,500	64,000	65,000			

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円	2,079	988	648	1,500	1,200			
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	5,001	2,306	3,772	4,800	3,450			
	事業費計(A)	千円	7,080	3,294	4,420	6,300	4,650			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			工事請負費	3,980	工事請負費	3,294	工事請負費	2,160	消耗品費	20
			補助金	3,150				燃料費	80	燃料費
							業務委託料	1,200	業務委託料	600
							工事請負費	5,000	工事請負費	4,000
人件費	人	1	1	1	1	1				
のべ業務時間	時間	50	50	50	50	50				
人件費計(B)	千円	195	197	197	197	197				
トータルコスト(A)+(B)	千円	7,275	3,491	4,617	6,497	4,847				

事務事業名	森林路網整備事業	担当部	産業文化部	担当課	農山村振興課	担当係	森林整備係
-------	----------	-----	-------	-----	--------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	開始年度は不明ですが、本事業は林業の効率的経営や森林の適正な管理に不可欠であり、森林空間の総合的な利用、山村の生活環境や地域振興にも重要な役割を果たすものです。本事業による林道の開設、改修に対して県が補助を行っている。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	長引く材価の低迷により、森林所有者の維持管理もままならず、荒廃した森林が多くなっている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	林業関係者から林道等の維持管理費に対する助成を要望されている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	林道は木材の搬出に不可欠であり、林業振興や山間地の活性化を推進する上で林道整備を支援することは政策体系に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	市の管理する林道であるため。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	市の管理する林道を利用者の安全確保のための整備である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	森林路網整備事業実施要領に基づき進めており、向上余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	県の審査を受けて補助事業を実施している。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	市管理林道は一般車両も通行する公益性の高いものであるため
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
恒久的に利用者の安全が保たれる状況になった場合、林道の廃止、管理移管ができた時に事業の廃止ができる。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			